

品質・環境・安全衛生方針

MHI原子力研究開発株式会社は、原子燃料、原子炉材料、原子燃料サイクル、放射性廃棄物、原子炉化学、放射線技術分野の研究、開発を主体業務とする研究・開発専業会社として、これらの分野の研究、開発、試験、検査、製作、解析、輸送に係る業務を行います。また、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」で規定された使用施設等を有し、核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物の使用、廃棄及び保管並びに運搬に係る保安業務を行います。

当社は、これらの業務を行う原子力事業者として、安全をすべてに優先し、法令・規制要求事項を満足した信頼性の高い品質を保証すると共に継続的な環境負荷の削減、労働安全衛生の維持確保を実現するため、以下の品質・環境・安全衛生方針を定めます。

(1) 原子力安全文化の醸成

品質保証、環境保全、安全衛生の重要性を全社員に周知し、高い品質意識を持った風土と企業の社会的責任を意識した原子力安全を最優先させる文化を醸成します。

(2) 法令遵守の徹底

原子力安全を達成、維持、向上させるため、法令、基準、規格、規制要求事項及び近隣自治体との協定等の厳守を徹底し、社会一般の倫理規範に対しても適切に配慮します。

(3) 品質への取組

原子力安全を前提に顧客の要求を満たし、顧客の信頼と満足の得られる高い品質を提供するため、常に技術力と品質の向上に努めます。

(4) 環境への取組

原子力研究・開発活動を通じて原子力の安全利用を促進し、地球温暖化問題の解決に寄与すると共に、環境意識の向上、周辺地域との協調、継続的な環境負荷の削減(CO₂ 排出量削減、省エネルギー、省資源、放射性廃棄物及びその他の廃棄物の発生抑制等)に努め、より良き地域環境と豊かな社会の実現を目指します。

(5) 労働安全衛生への取組

すべてに優先して人、施設、設備の安全を確保し、安全で健康的で快適な職場を実現します。

(6) 継続的改善への取組

品質・環境・安全衛生マネジメントシステムの適切性について、定期的な見直し(マネジメントレビュー、内部監査)を行い、社会の変化に迅速、柔軟に対応し、かつ世界に通用する適切なマネジメントシステムの継続的改善を行います。

(7) 品質目標の設定

品質・環境・安全衛生における適切な品質目標(活動計画)を設定し、目標達成のために効果的な活動を展開します。品質目標は、社会環境、顧客ニーズなどを捉え、必要に応じて見直します。

2026年4月1日

MHI原子力研究開発株式会社
取締役社長

加藤 政彦